

竹田陽一の経営随筆集

2022年12月6日 第41号



人間の体毛はいつ頃から少なくなったのか

私は月に1回トコヤに行き、髪を切ってもらっています。

人の髪の毛は、1か月におよそ1cm伸びます。トコヤの店主が私の髪の毛を切っているとき、ふとあることを思い出しました。

チンパンジーやゴリラは髪の毛が伸びないのに、なぜ人間の髪の毛は伸びるのか、ということでした。

もし人の髪の毛が1cm~1.5cmの長さのままであれば、トコヤや美容室の業種は存在しなくなるでしょう。

しかしいくら考えても、答えは出ませんでした。

次に頭に浮かんだのが、チンパンジーやゴリラには体毛がビッシリとはえているが、人間には体毛がない。

もちろんあるにはあるが、毛のサイズが小さかったり少ししかはえていません。

人間には体毛が無くなったことで体の熱を逃しやすくなり、遠く迄歩けるようになったらしいのです。

ではいつ頃、体毛がなくなったのか、これははっきりしません。

体毛は化石にならないので、調査ができないことから、長年謎になっていたのです。

その後自然科学のテレビ番組を見ていたら、ある学者が「人間に体毛が無くなったのは、150万年位前になる」と発表していました。

その根拠は、人の体に寄生する「シラミ」遺伝子の解析でした。

全身に毛があるときには、同じ種類のシラミがいたはずで

その後、徐々に体毛が薄くなっていくに従って、人の体に取り付いているシラミは、「頭の毛と陰毛」の2つに分かれて寄生するようになりました。

この状態が長年続いているうちに、両者は種類が違った、別種のシラミに変化したというのです。

そこで両方のシラミの遺伝子を解析し、遺伝子の違いの数から年月を測定する「分子生物学」の手法を使って計算したところ、150万年位前に人の体毛が薄くなったと結論付けたというのです。

この結論の重要なことは、いつ頃人の体から体毛が消えたのか、これをなんとしても知りたいという、学者の「意欲や熱意」と、人の体の2カ所に寄生するシラミの遺伝子に目をつけた「創造性」の、2つがあったからだと思われます。

これは新商品の開発や、今までにない営業方法を考えるときには、大いに啓発されるものになります。

Lanchester

ランチェスター経営(株)



〒810-0012 福岡市中央区白金1-1-8 チュリス薬院301

TEL 092-535-3311 FAX 092-535-3200

メールアドレス customer@lanchest.co.jp HP <https://www.lanchest.com>